

1. 社会・治安情勢

- (1) 2021年のリオのカーニバルは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となったが、これは、1918年にスペイン風邪が大流行した影響で開催が中止されて以来、歴史上2度目のことである。
- (2) サンボードロモでのコンテストの他、市中でのブロックも全面禁止された影響で、カーニバル期間中リオを訪れる観光客も半減した。
- (3) 結果的に、市内におけるブロックの発生はなかったが、至るところでパーティーが発生し、人の密集は発生してしまった模様。
- (4) しかし、観光客の減少に伴い、特にコパカバーナにおける犯罪は、例年に比べて激減した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2020年度第4四半期（1～3月）中のリオ州内における殺人事件発生件数は、920件で、前期（第3四半期）と比べて約5%増加しており、第2四半期（7～9月）から2期連続で増加となった。
- (2) また、強盗事件発生件数は、32,965件で、前期に比べ10%増加したほか、身近な窃盗事件も微増傾向にある。
- (3) 今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大と、それに伴う外出自粛措置による一時的な特殊要因によるものと思われる犯罪件数の激減が認められたが、制限緩和や、緊急援助金の終了、困窮者の増加に伴い、犯罪発生件数が増加に転じている可能性が高い。
- (4) 特に、第4四半期中、警察介入の際の致死事件数が453件（前期比50%増）

と2四半期連続で増加しており、これまで作戦活動を自粛していた警察当局の活動の活発化が認められることから、犯罪組織と警察との銃撃戦に巻き込まれないように今後も注意が必要である。

3. リオ州犯罪発生状況（2020年）

| | 第3四半期 (10～12月) | 第4四半期 (1～3月) |
|--------------|-------------------|-----------------|
| 殺人 | 877 | 920 |
| 強姦性交等 | 1,343 | 1,312 |
| 商業施設強盗 | 886 | 969 |
| 住居侵入強盗 | 195 | 262 |
| 車両強盗 | 6,282 | 6,871 |
| 通行人強盗 | 11,278 | 11,889 |
| 交通機関内強盗 | 2,190 | 3,066 |
| 携帯電話強盗 | 3,857 | 4,113 |
| 強盗総数 | 29,997 | 32,965 |
| 窃盗総数 | 27,098 | 27,872 |
| 取扱件数 | 146,554 | 155,676 |
| ※警察介入の際の致死事件 | 304 | 453 |

4. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

（1）窃盗（イパネマ地区）

2月14日（日）午後8時15分ころ、イパネマ地区ヴィシス・デ・モライス通り（レストラン「Garota de Ipanema」付近）において、邦人男性が携帯電話を手に持ち、Uberを待っていたところ、自転車に乗った男性に携帯電話をひったくられた。

（2）店舗強盗（イパネマ地区）

2月26日（金）午後、イパネマ地区のヴィスコンジ・ジ・ピラージャ通り沿いの宝石店に強盗が押し入り、拳銃を発砲して脅迫し、金品を奪ってバイクで逃走した。

（3）窃盗（イパネマ地区）

3月3日（水）午後4時ころ、イパネマ海岸（ポスト9付近）の砂浜で、敷物の下に財布・携帯電話等在中のリュックサックを隠して置いていたところ、目を離した隙に盗難にあった。さらにその後、盗難に遭ったカードが市内複数店舗で不正利用された。

(4) 詐欺（架空請求）

2月以降、大手通信会社であるCLAROやVIVOを装ったケーブルテレビや電話料金の架空請求事案が多発。

5. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

6. 誘拐・恐喝事件発生状況

邦人被害は認知していない。